

## 2011年度3年次編入学試験「実技試験」「小論文」等の採点基準

学科・専攻	実技試験(芸術学科は小論文)	面接	小論文利用	実技試験作品利用
	狙い・意図、採点のポイント	狙い・意図、採点のポイント		
日本画		志望理由と小論文を参考に判断をおこない、提出作品の審査では、制作意図と表現及び技術的レベルなどを総合的に判断した。	○	
油 画		当該学年に相当するだけの作品に対する技術力・表現力・思考力が充実しているか。大学編入後のビジョンはあるか。どのような意図で制作しているか、また美術について普段どのような考え方を持っているか。本学を選んだ理由が明確かどうかなどを総合的に判断した。	—	
版 画		本学への志望理由や制作に関する希望などから意欲を感じる。2年次までに版画技法の基礎を学んでいたため、今までの版画研究がどの程度までおこなわれてきたのかも参考にした。	○	
彫 刻		具体的な志望研究領域、志望理由などを合理的かつ理論的に説明できるか。提出作品からは3年次編入に適応できる基本的な造形能力を有しているか審査した。	○	
工 芸		本学工芸学科を志望する具体的な動機や専門授業にたいする表現や技術レベルを推しあかり、小論文も参考にしながら、今後の授業に対応することが可能であるか否か観ると同時に、人物から受ける熱意なども合わせて判断した。	○	
グラフィックデザイン	<p>鉛筆デッサン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解力 問題の把握、理解が正しいか</li> <li>・伝達力 問題の目的や状況を正確に表現しているか</li> <li>・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか</li> <li>・描写力 構図、形、動く、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか</li> <li>・個 性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか</li> <li>・3年次に相当する能力を有するか</li> </ul> <p>色彩構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解力 問題の把握、理解が正しいか</li> <li>・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか</li> <li>・造形力 アイデアを明快でムダのない色彩と構成によって、美しく整理できているか</li> <li>・完成度 手仕事としての仕上げが優れているか</li> <li>・個 性 品格、感性に優れているか</li> <li>・3年次に相当する能力を有するか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編入志望理由が明確であるか</li> <li>・授業への取り組みの意欲があるか</li> <li>・持参作品による描写力、色彩・構成などの基礎的造形力の評価</li> </ul>	○	○
プロダクトデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解力=問題の把握、理解が適切か</li> <li>・発想力=アイデアが優れているか</li> <li>・独創性=他にないアイデアか</li> <li>・実現力=アイデア具体化方法の知識があるか</li> <li>・表現力=アイデアが伝わる表現か</li> <li>・3年次に相当する能力を有するか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次相当の実技力があるか</li> <li>・本専攻の内容を理解しているか</li> <li>・本専攻への入学意図は明確か</li> <li>・自分の意見を述べられるか</li> <li>・学習意欲が感じられるか</li> </ul>	—	—
テキスタイルデザイン	テキスタイルデザインを学ぶために必要な基礎的観察力、色彩表現力に加えデザイン力を問うことをねらいとして出題した。また、図と地の関係に留意した上で、独自の表現が示せているかを採点のポイントとした。	受験者が本専攻の基礎課程（1、2年次）と同等の実力を有しているか、また、3年次からの授業についていけるかどうかを持参作品によって審査した。さらに、口頭および記述によって自分の考えやテキスタイルデザインを学ぶための熱意を明確に説明できるかも評価の対象とし、採点のポイントとした。その際に共通教育の小論文を参考にした。	○	—
環境デザイン	本学3年生と同レベルの造形力、およびデッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるか。	在籍中の学校において本学科の1、2年次で学ぶ内容と同等以上の教育を受けているか、また本学科の3年生と同レベルの知識、デザイン力があり、授業についていけるかどうか。 学校を変えることに対する目的意識がはつきりしているか。 実技試験と共に、在籍中の学校の課題作品のポートフォリオで評価する。	—	○
情報芸術コース		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報芸術コースの2年次までのカリキュラムで身につける、あるいはそれ相当の作品に必要な知識やスキルを持っているか</li> <li>・編入前の大学における学習成果と、それを編入後に活用していく力</li> <li>・情報芸術コースの教育内容、制作に関する調査と理解</li> <li>・編入および編入後の制作に関する明確な目的／目標の有無</li> </ul>	—	
情報デザインコース		<ul style="list-style-type: none"> <li>・在校生と遜色のない描写力、表現力を持っていているか</li> <li>・情報デザインコースに対する適応力を持っているか</li> <li>・専門講義科目を理解する学力は備わっているか</li> </ul>	○	
芸術		芸術学科で何を研究したいのか、受験生の知的能力や知的関心がその研究を進めていくのに十分か、芸術の理論や歴史に関する基礎知識は持っているか、卒業論文を書き上げるのに十分な能力を有するか、など判断します。	—	

## 全学科共通小論文

ねらい・意図：本学編入に際して受験生のバックグラウンドを知りたい。また文中より編入後の伸びしろをつかみたい。  
 採点ポイント：文章が明確に論じられているか。ねらい・意図がしっかり出されているかをみる。